

データに基づく教育と求められる質保証

2021. 11.5 Fri 6 Sat

開催要旨

IR 合同シンポジウム

大学教育の在り様が大きな転換点を迎えているなか、その質の保証を大学として追及する必要性は、これまで通り変わっていません。大学教育におけるDX推進は、形態や程度は様々ありながらも待ったなしで進むものと考えられ、IRの役割は、質保証のエビデンスとしての役割から、DXでの活用といった新たなステージへの発展も見え隠れしています。

教育方法が如何に変わろうとも、大学は、目の前の学生と向き合い、そして、教育成果とその質の保証についてIRデータを用いて説明責任を果たさねばなりません。今回で4回目を迎える3団体合同シンポジウムでは、これらの観点から、データに基づく教育の発展・浸透について、専門家の視点、実践する大学の視点、大学が受け入れる生徒の学びの実態について情報提供をいたします。さらに、中盤を迎える第3期認証評価の現状についての報告を踏まえ、最後にDXも含めたコロナ以降の持続性ある大学教育のあり方について、登壇者によるパネルディスカッションを展開する予定です。

11. 5

第15回 EMIR 勉強会

2020年に公表された「文部科学省におけるデジタル化推進プラン」では、「大学におけるデジタル活用の推進」「教育データの利活用による、個人の学び、教師の指導・支援の充実、EBPM等の推進」等が明記され、データ駆動型教育やマネジメントを推進する方向性が示されました。このことは、IRへの、これまで以上のデータ収集、蓄積、分析等の期待が高まる可能性を示唆しています。一方で、各大学のIR部署は、その期待にどのように応えていくべきなのでしょう。 「AI」「ビッグデータ分析」「BIシステム」「ERP」等のデータ分析を取り巻く新技術や、それらが導く「DX」は、IRのあり方、そして、意思決定のあり方自体を変容させてしまう可能性を持っています。本ディスカッションでは、米国の先端企業で活躍するデータサイエンティストをゲストに迎え、IRに関連する新たな技術を中心的なテーマとし、テクノロジーの可能性と課題、データドリブンな意思決定の実際、エビデンスとは何か、そして、それを支えるデータガバナンスまでを議論する予定です。

11. 6

参加留意事項

- 当日のご質問は、ZoomビデオウェビナーのQ&A機能をご利用ください。各講演後時間の許される限り、その場でご回答いたします。
- Zoomビデオウェビナーへの接続情報は、開催数日前にメールにてお送りします。

お申込み

右記のアドレスからお申し込みください。 <https://reserva.be/irnw> 【申込期限】 2021.11.3 (Wed)